



難波っ子

令和元年度6月号
尼崎市立難波小学校
校長 兼田 隆男

「令和」の時代に

元号が平成から令和に変わり、戦争がなかった平成から令和に引き継がれました。子どもたちが、平和で天災のない穏やかな時代の中で生きていくことを願うばかりです。令和の意味は、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ。梅の花のように、明日への希望を咲かせる国でありますように。」です。令和の時代を生きる子どもたちが美しい心を寄せ合い、明日への希望を咲かせる社会を築き上げる大人へと成長して欲しいと思います。

学校での普段の様子

どの学年の子どもたちも、朝から大きな声であいさつをし、元気よく登校しています。正門付近も元気なあいさつのでにぎやかです。授業中は、みんな勉強に集中しています。年度当初は、静かになるのに少し時間がかかりましたが、最近は、すぐに静かになるようになってきました。5月の全校朝会では、みんなが私語をしないで、きれいに整列をし、静かに全校朝会に参加していました。校舎に戻るときの行進も両手をしっかりと振りながら、しっかり前を向いて、堂々と行進していました。

特別教室に移動する時も、私語をしないで、整然と整列して教室移動をしています。黙々清掃もみんなで協力してだまって掃除をしています。最高の「難波っ子」です。こんな子どもたちを見ていて、将来、立派な社会人として、人や社会の役に立つ大人になって欲しいといつも心の中で願わずにはられません。

地域の人から電話

ご近所の方から学校に電話がありました。その方はお名前を名乗りませんでしたが、電話の内容は、難波小学校の児童が通学途中に、道端や側溝のゴミを拾いながら、通学をしているのを見かけて、とても感心され、そのことを伝えるために電話をかけてこられたということです。良いことをしておれば、誰かがそのことを見てくれているのです。難波小学校の児童がこんな素晴らしいことをしているという情報が入り、我々教職員もとてもうれしく思っています。素晴らしい子どもたちです！！

